

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	デジタル制御(再)						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修科目(組込みシステムコース) 選択科目(電気エネルギーコース) 選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	平野 剛						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・連続系と離散系について説明できる。(A3,B6,C1) ・標本化周期選定法について説明できる。(A8,B4,B5,B7,C1,C2,C3) ・シーケンス制御について説明できる。(A3,A8,B4,B5,B6,C1,C2,C3) ・マイコンを利用した制御プログラムが書ける。(A3,A8,B4,B5,C1,C2,C3) 						
日程と内容	10/23 連続系と離散系 10/30 標本化定理 11/6 標本化 11/13 デジタルフィルタ 11/20 フィードバック制御 11/27 PID制御 12/4 シーケンス制御 12/11 入出力制御、制御実習 12/18 定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標は概ね達成できたが、基礎的なプログラミング能力が低いため制御プログラムの一部が書ける程度にしかなかった。						
反省点	少人数の集中講義であったため学生の理解度に応じて授業をすることが出来た。またマイコンボードを用いた制御プログラム作成も概ね好評であったと思われる。						
来年度の計画	来年度からは3年前期に移動するため、制御工学の履修前に受講することになる。従って制御理論を少し入れつつ、制御シミュレーションの結果を講義中にリアルタイムに見せることで、理論だけでなく制御の効用を実感できるようにする。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.8と高く、個別評価も「予習復習をしたか」が3.8と低かった以外は4.1以上あった。これは受講人数が少なく学生の理解度に応じて授業を進行できた結果と思われる。						
履修登録者数	13名	定期試験 受験者数	13名	合格者数	13名	合格率	100%